

回 覧	部(支所)長	課 長	担 当

バンカーシートの販売について

お世話になっております。朝晩の冷え込みがありますが体調はいかがですか？
今回はいちごのハダニ類の防除場面において天敵資材を活用した総合的な防除法を提案したいと思います。

1. バンカーシートとは？

本技術は、農研機構中央農研センターが中心となって農食事業（課題番号 26070C）において開発されました。ハダニを捕食するミヤコカブリダニをパック製剤にした「システムミヤコくん」をバンカーシートに入れることで薬剤等から保護し、ミヤコカブリダニの増殖に適した環境を作ります。

⇒簡単にいうと化学農薬や環境変化の影響を軽減して天敵カブリダニを増やし、長期間放出する簡易的組立資材です。

注意点としてバンカーシートを含む天敵各資材はそれだけで防除ができるわけではなく、化学防除、耕種的防除を総合的に行うことにより難防除となっているハダニの被害を軽減できます。

2. バンカーシートの登録内容及び製品内容について

■登録内容（野菜類の部分のみ抜粋）2018年6月

名称	作物名	適用病害虫	使用量	使用時期
システム ミヤコくん	野菜類 (施設栽培)	ハダニ類	50~100パック/10a	発生直前~ 発生初期
	いちご (露地栽培)		100パック/10a	

■製品内容（数）

システムミヤコくん(100パック)
(農薬登録番号 第23784号)

バンカーシート[®](100個)

フェルト(100枚)

保水資材

このような荷姿で届きます！



私たちJAグループは“無登録農薬”は扱いません！

3. イチゴのハダニ類防除におけるバンカーシートのイメージ

イチゴのハダニ類防除で活用されているカブリダニとして、ミヤコカブリダニとチリカブリダニがあります。それぞれ特徴があるカブリダニですが、ミヤコカブリダニとバンカーシートを組み合わせることによって、ミヤコカブリダニの「予防的」な効果を、長期にわたって継続させることができます。

ミヤコバンカーで予防的なハダニ類防除の下地を作り、ハダニ類の発生状況に応じて、気門封鎖剤、チリカブリダニ、殺ダニ剤を併用していきます。



チリカブリダニは制圧型。*チリカブリダニはバンカーシートに入っておりません。殺菌剤に例えると治療剤。



ミヤコカブリダニは待ち伏せ型。殺菌剤に例えると予防剤

重要!

バンカーシートに入れると...



長期残効を期待できる予防剤

**定植時は
ハダニ完全0!**

ハダニ類の発生状況に応じて
●気門封鎖剤
●チリカブリダニ
●ダニ剤 を併用する

4. バンカーシートの設置の方法・時期について

■組み立て方について



黒フェルトで、カブリダニパック製剤を挟み、バンカーシート本体に入れます。

重要!

奥までしっかり押し込みます。



保水資材を5個入れます。



口を折り込み...

×印のある折込み部分を先に折込む



完成!



100個のバンカーシートの作成にかかる時間は、4人では15分、2人では30分ぐらいです

■ 圃場内の設置の仕方

良い例



・立てて設置（割り箸や串で固定可能）

良い例



葉よけヒモにかける



悪い例



横置きで設置すると結露し、中のミヤコパックが腐れて、ミヤコカブリダニが死んでしまいます。（悪影響）



■ 設置スケジュール

※ ハダニ少発生とは、上から見ても分からないが葉裏をよく見るとハダニがいる状況です。スポット発生とは上から見てもハダニの発生が確認できる箇所が分かる状況です。

9月			10月			11月			12月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬



ミヤコバンカー設置前に
ハダニゼロの徹底

炭酸ガス処理
モベント灌注
気門封鎖剤
など

設置2週間前
にハダニの有
無を確認する
・葉裏の観察
・叩き落とし

パターン① ハダニ0（育苗期もハダニ0）の場合・・・基本型
⇒ミヤコバンカー100個/10a

パターン② ハダニ0（育苗期にはハダニ発生）～少発生の場合
気門封鎖剤散布後
⇒ミヤコバンカー100個+チリ 2,000頭～6,000頭

パターン③ ハダニがスポット発生の場合
気門封鎖後散布後

⇒ミヤコバンカー100個+チリ 2,000頭+1週間後ミヤコバンカー100個

5. バンカーシートの注意事項について（重要）

○ゼロ放飼が重要

ミヤコバンカーの効果を最大限発揮するためには、ハダニをゼロにして放飼することが重要。定植苗や補植苗からハダニの持ち込みを防ぐために、育苗期からの防除を徹底が必要。

○マルチ展張後すぐに設置

ミヤコバンカーは、放飼適期が広く効果を発揮しやすい資材だが、カブリダニの放出・分散にやや時間がかかるので、必ずマルチ展張後、速やかに設置を行う。

○適切な時期に設置

ハダニ発生圃場で、年明け以降に初めて設置をしても、防除効果が期待できないので注意。設置1ヶ月後にバンカーとバンカーの間地点に移動させることは、カブリダニの均一な分散を図るのに有効な手段。

○設置後の防除について

ミヤコバンカー設置後、ハダニの発生が見られた場合は、気門封鎖剤やチリガブリ（チリカブリダニ）、天敵に影響の小さい殺ダニ剤等の組合せで防除を行う。※薬剤について天敵影響表を参照ください。

◆必ずバンカーシート設置前にはハダニがない状態の徹底を行ってください

（気門封鎖剤や炭酸ガス処理等）

ハダニの発生を葉裏の観察や叩き落としを行い確認し、以下の設置を行ってください。

パターン①ハダニ0（育苗期もハダニ0）の場合・・・基本型

⇒バンカー100個を設置してください。

パターン②ハダニ0（育苗期にはハダニ発生）～少発生の場合

⇒気門封鎖剤散布後バンカー100個+チリ2,000～6,000頭を放飼してください。

パターン③ハダニがスポット発生の場合

⇒気門封鎖剤散布後バンカー100個+チリ2,000頭+1週間後バンカー100個を設置してください。

確認

右のQRコードを読み取ると動画でバンカーシートの詳細が見ることができます。

*引用：JA全農ふくれん作成チラシ

*10月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。

JA全農ながさきホームページURL：<http://www.ns.zenoh.or.jp>



JAグループ「安全防除運動」展開中

◎農産物の安全……今、消費者がもっとも願っている「食の安全」。

それは私たち生産者の願いでもあります。きちんとした農薬を選び、正しく使って、日誌に記録を残す。これを続けることが、消費者に信頼される農産物づくりにつながります。

- ・使うのは、もちろん登録農薬！
- ・安全使用・事故防止へ、ラベル確認を習慣に！
- ・使用後も、防除日誌で“安全証明”

◎環境の安全……土や水といった自然の恵みを利用して営まれている

農業。皆さんが守り続けてきた大切な田畑を、次の世代に残すためにも、自然環境に十分配慮した農薬散布を心がけましょう。

- ・必要量だけ希釈し、使い切る。空容器は適正処理を！
- ・水稲除草剤の散布後は、圃場外への流出防止策を！

◎農家の安全……軽装備による散布中の事故や子供の誤飲事故が増えています。

いくら周辺環境に配慮しても自身の健康を害しては何にもなりませんし、周辺住民との信頼関係を築くためにも農薬の保管管理にはいっそう注意したいものです。

- ・暑さに負けるな。完全防備！
- ・使用後は“薬の戸締り”万全に！

散布するときは、
マスク、メガネ、手袋を
きちんと、つけましょう。



安全使用基準を守りましょう